

- ・インフルエンザの都の定点当たり報告数は、11.48で**注意報レベル**が続いています。
- ・新型コロナウイルス感染症の都の定点当たり報告数は、3.06で先週より減少しています。

全数報告対象疾患

- (五類)侵襲性肺炎球菌感染症 1件
・(80代女性)血清型は未実施、感染地及び感染経路は不明、肺炎球菌ワクチン接種歴は不明

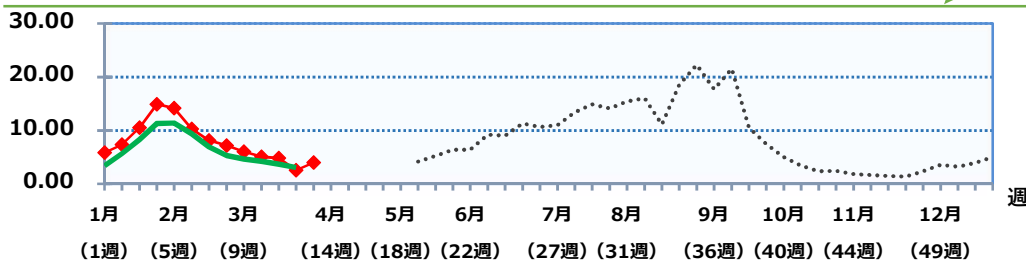
定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023北区
—◆— 2024北区
— 2024東京都

新型コロナウイルス感染症

	前週 3/11~3/17	【最新】 3/18~3/24	傾向
北区	4.82	2.55	↓
東京都	3.70	3.06	↓



Topics

結核について正しく理解しましょう

【結核って何?】

空気中にただよう結核菌が肺に入って感染し、それによって起こる病気です。結核が進行すると、咳やくしゃみなどによって、空気中に結核菌が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が広がります (空気感染)

【結核の症状は?】

風邪のような症状が長く続きます。(2週間以上) **高齢者の場合、症状が出にくいことがあります。**

【結核は過去の病気?】

1950年までは日本人の死亡原因1位が結核でしたが、1970年以降確実な薬剤治療が確立し死亡者が激減しました。

現代では減少している結核ですが、**決して過去の病気ではありません。**

今でも高齢者を中心に年間1万人以上の患者が発生し、年間1000人ものが結核で亡くなっています。

【結核になりやすい人は?】

感染しても、人の免疫力によって、およそ8~9割の人は発病しません。

しかし、糖尿病・慢性腎不全(透析)・HIV(エイズ)などの**免疫力の下がる病気にかかっている人や、リウマチ・臓器移植など免疫抑制剤を使っている人、高齢者や乳幼児は発病しやすいです。**

【感染と発病は違うの?】

結核は他の病気には見られない「**感染**」と「**発病**」の違いがあります。

感染・・・体内に結核菌が入ったが、菌は免疫力で抑えられ、症状や感染力はない。

発病・・・免疫力が低下したことで菌が増えだし、肺などの臓器に病巣を作り症状などが現れる。

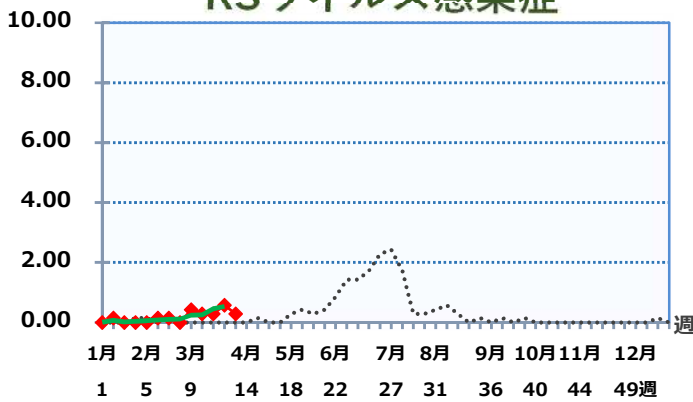
○結核について正しく理解し、心配な時はあわてずにかかりつけ医に相談しましょう。

定点把握対象疾患

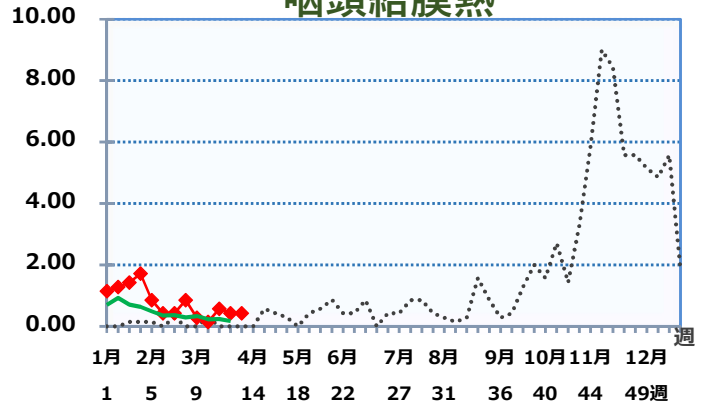
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数 ÷ 定点医療機関数)

- 2023北区
- ◆ 2024北区
- 2024東京都

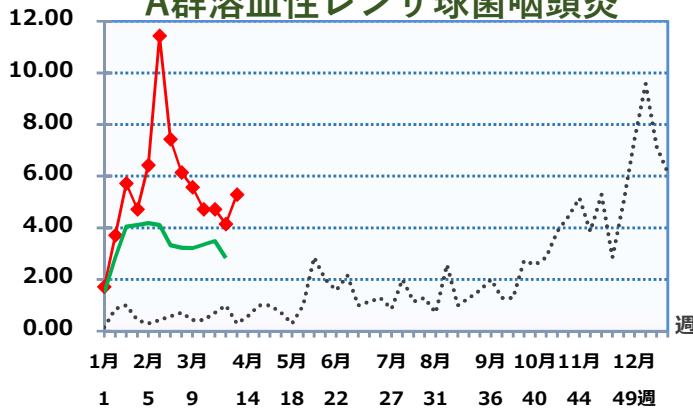
RSウイルス感染症



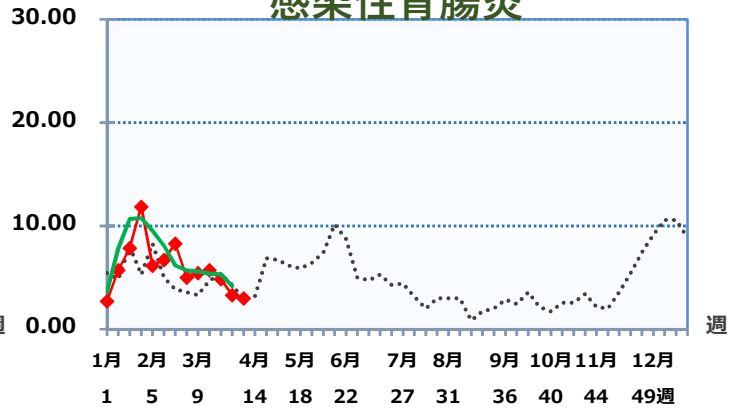
咽頭結膜熱



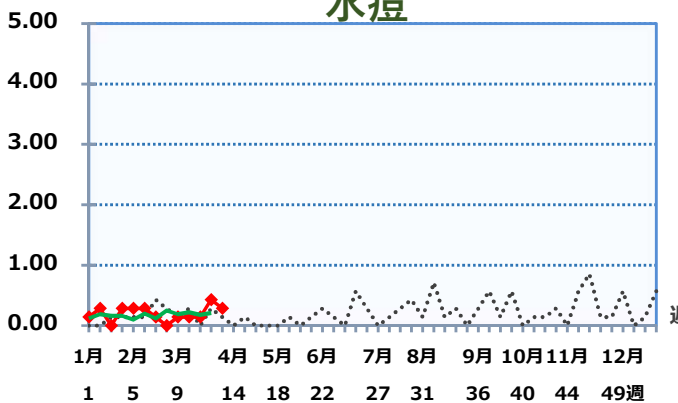
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



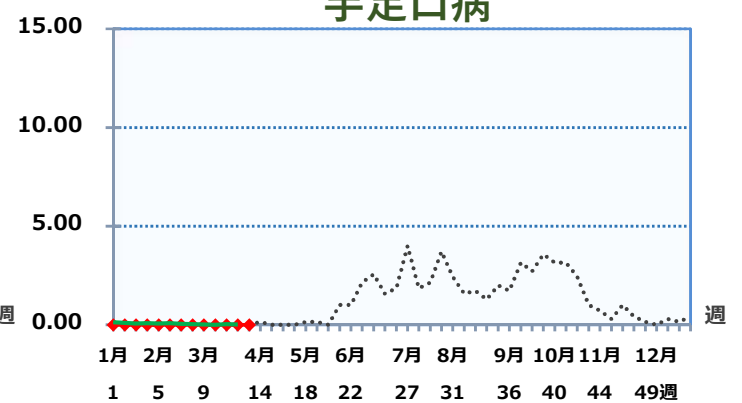
感染性胃腸炎



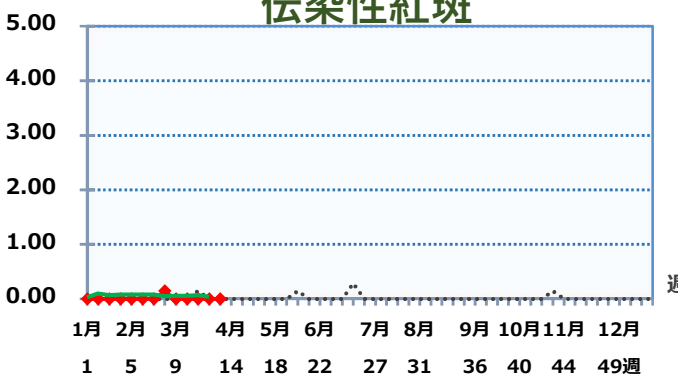
水痘



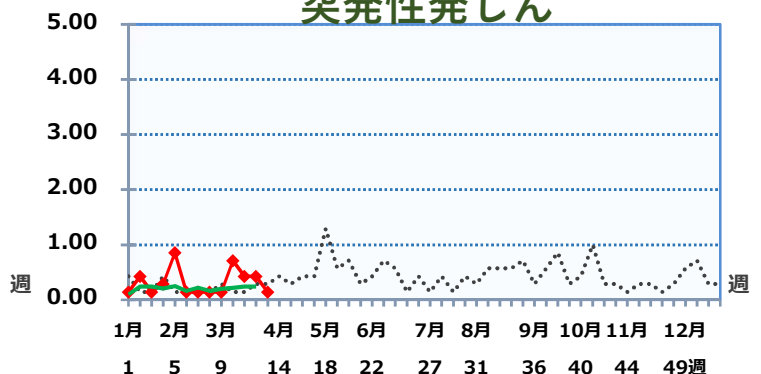
手足口病



伝染性紅斑



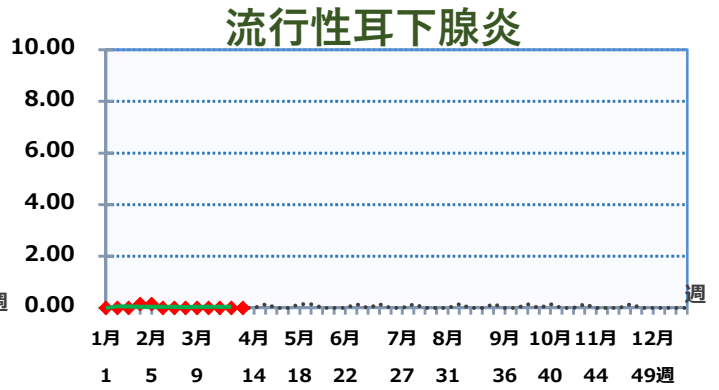
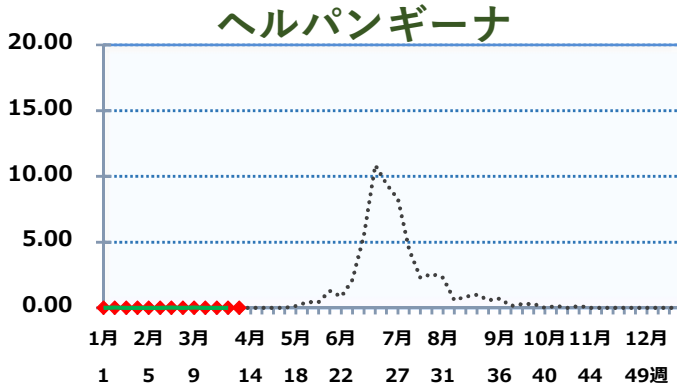
突発性発しん



定点把握対象疾患

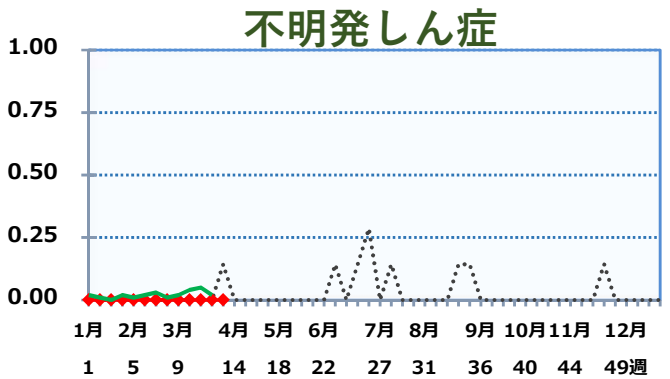
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023北区
 ◆ 2024北区
 — 2024東京都



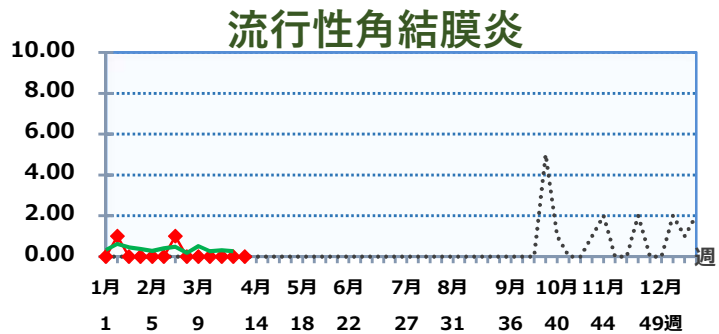
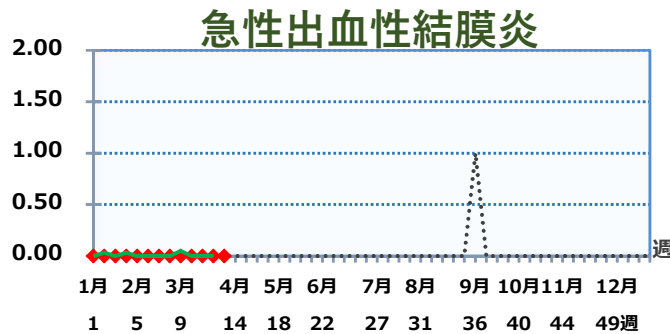
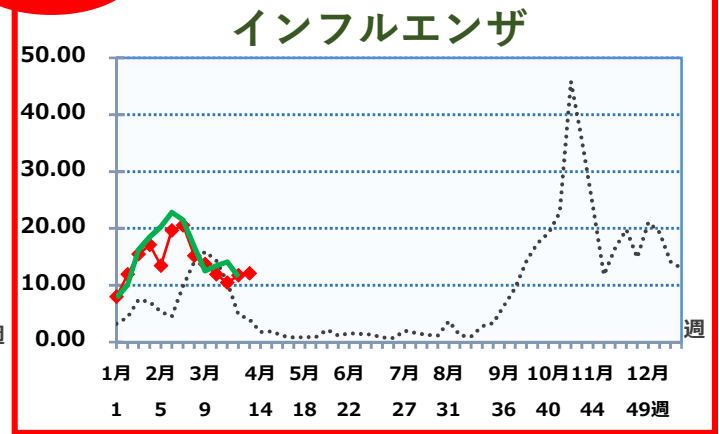
川崎病

北区：定点医療機関当たり患者報告数：0.00
 東京都：定点医療機関当たり患者報告数：0.02



注意

注意報レベルが続いており、注意が必要です。



性感染症 (2024年2月分まで)

※梅毒は「全数報告対象疾患」に掲載しています。

2024年3月分は2024年第15週号にて掲載予定です。

